

在校生への校長訓辞

令和4年2月24日

但野 茂

本日は終業式を迎えました。

4月に新年度を迎え、早1年が過ぎました。

皆さん、いかがでしたか？

しっかり自分自身の目標を達成できましたか？

この一年もまた、新型コロナウイルス感染症への対応となりました。1年間で4度も「緊急事態宣言」が発令され、前代未聞の状態でした。感染症対策が最優先となり、予定していた学校行事も変更や中止となりました。しかし皆さんは、適切にそして冷静に対応してくれました。よく頑張ったことと思います。

どのような状況にあっても、「学生の学びを止めない」、「高専教育の質を保証する」、そして「学生を感染症から守る」、ことが函館高専の方針です。おかげで皆さんは、オンラインやリモート授業のスキルも身につきました。まだまだ感染症の猛威は続いています。これからも学校の指示に従いながらも、実りのある学生生活を送ってほしいと思います。

国立高専は全国で51校あります。そのうちの1校が函館高専です。高専の特徴は、全国どこの高専を卒業しても、高専卒業生としての知識や能力が一定のレベル以上にあることを、保証していることにあります。このことが、高専の卒業生が社会に期待されている理由です。当然ですが、函館高専の教育レベルも全国レベルにあるわけです。皆さんは、我が国の産業界を支える工学的人材として大変期待されています。皆さんは、期待される人材となるよう努力する必要があります。そのためには、まず学校の授業をしっかりと学び、そして自ら学ぶ習慣を身につけることです。

このコロナ禍でも、函館高専の就職の求人倍率は10倍を超え、就職は

大変良いですし、国立の大学からも編入学生を受け入れたいとの依頼もたくさん来ています。今年の5年生もよく頑張って、ほぼ全員の進路が決まったようです。難関と言われる大学にも沢山進学しました。進学者は専攻科を入れて69名42%です。そのうち大学へは50名です。ほとんどが国公立大学です。専攻科には19名進学しました。就職は85名51%でした。専攻科は修了予定者13名のうち約半分の6名が大学院に進学しました。

4年生以下の学生も、卒業後の進路に大きな希望を持って、その希望が実現できるよう、しっかり時間をかけて準備して下さい。皆さんの将来の世界が広がります。

高専は日本独自の制度ですが、今や国際的にも認められるようになって来ました。英語では高専を National Institute of Technology, Hakodate College と言いますが、今ではそのまま「KOSEN」が世界に通じるようになっていきます。アジアの国々では、日本の高専と同じ学校を作ろうとしています。函館高専では、国際寮も作りまし、フランス、ベルギー、イタリア、シンガポール、などの海外の学校と多くの交流を行なっています。コロナが落ち着いたら、皆さんは在学中に海外に行く機会が多くあります。そのための準備をして下さい。皆さんが学んだこと、また学んでいることは、世界に通用するレベルにあるということです。

5年生の皆さん、あともう少しで卒業です。高専、函館高専で学んだことに誇りを持って、これからしっかり歩んでもらいたいと思います。

また在校生の皆さんも、高専、函館高専で学んでいることに誇りに思ってください。これから春休みに入ります。また来年度に向かって、高専生であることの誇りを持って、大切な時間を過ごしてもらいたいと思います。

以上です。